

出題分析		
試験時間 60分	配点 150点	大問数 4題
分量 (昨年比較) [ 減少 <span style="border: 1px solid black;">同程度</span> 増加 ]		難易度変化 (昨年比較) [ 易化 同程度 <span style="border: 1px solid black;">難化</span> ]
概 評 ——出題の特徴・特記事項		
<p>〔Ⅰ〕は原始～現代の雑題, 〔Ⅱ〕はA史書編纂の歴史, B出版の歴史を取り上げたテーマ史, 〔Ⅲ〕はA「離宮八幡宮文書」, B「近世やかま獅子退散図」を使用した史料問題, 〔Ⅳ〕は近現代の文化史がそれぞれ出題された。</p> <p>昨年に引きつづき, 視覚資料が出題された〔Ⅲ〕は解答に時間を要する問題が多く, 苦戦が予想されるため, その分他の大問は素早く確実に点数を積み重ねておきたい。</p>		

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
〔Ⅰ〕	原始～現代の歴史的 事象の正誤判定	<p>1. a. 四隅突出型墳丘墓は山陰地方にみられる。 b. 5世紀の倭の五王による遣使が記録された『宋書』倭国伝を想起したい。2. a. 外交文書などを作成した史部は渡来系氏族が多かった。4. a. 園城寺を拠点としたのは円珍の門流。5. a. なお, 伊勢神道を大成した度会家行は, 豊受大神を祀る外宮の優位を主張したため, 「天照大神を中心に」という表現が正しいとは言い切れない。6. a. 中先代の乱の際に関東に下ったのは尊氏である。b. 御内書ではなく, 御文が正しい。7. a. サン=フェリペ号は土佐に漂着した。8. b. 銀ではなく銅や鉄, 真鍮が正しい。9. a. 江藤新平は使節団には加わっていない。なお, 昨年同日程・同大問の7でほとんど同じ問題が出題された。また, 今年の2月1日の入試でも江藤新平について問われている。10. b. 判断がやや難しいが, レッド=ページの時期に結成されたのは日本労働組合総評議会(総評)で, 日本労働組合総連合会(連合)の結成は1989年である。</p>	標準

設問別講評			
〔Ⅱ〕	A 史書編纂の歴史, B 出版の歴史	1. アとウで迷ったかもしれないが, ウの『日本外史』は頼山陽が著した民間による歴史書。2. 細かい知識が問われた。4. アは甲州法度之次第, イは楽市令, ウは正長の徳政一揆の記録, エは田畑永代売買禁令である。5. 家持でなければ町政に参加できなかった。6. 興福寺から春日大社を導いて判断したい。10. 文化史の細かい知識が問われた。	標準
〔Ⅲ〕	A 「離宮八幡宮文書」より, 大山崎神人による油の売買をめぐる訴え B 「近世やかま獅子退散図」より京都における幕末の動乱	A1. 油の売買に関する史料なので, 「大山崎」と判断したい。2. 史料文から判断するのは難しいため, 選択肢を正誤判断して消去法で解答したい。3. 難。大山崎神人と対立が生じうるのは, 近接する播磨国の土民だと判断しよう。4. 難。主語について, 右京大夫が「仰せ」と敬語を使う対象を考えたい。B6. 難。空欄 f の後に, 「一の橋」から一橋家を想起し, 「今々獅子」は徳川慶喜と判断する。徳川家について述べていることから, 選択肢アの「十九」川で「とくがわ」と判断する。7. 江戸幕府は武蔵国にあったこと, 掲載された絵図の守護神八將軍の旗に描かれた月と太陽から判断したい。したがって, 空欄 h は「京師」すなわち京都が入るため, 「馬鹿馬鹿獅子」は会津藩主であり京都守護職に任じられた松平容保である。9. 上記のことから, 会津藩関わった出来事を選ぶとよい。10. 旧幕府が政治の表舞台から一掃された戊辰戦争の緒戦となった, 鳥羽・伏見の戦いと判断しよう。	難
〔Ⅳ〕	近現代の文化史	受験生の多くが苦手とする近現代の文化史が出題された。一部で細かい知識が問われ, 日頃の学習成果が表れる問題構成であった。4. 築地小劇場は, 知識人に受け入れられた。5. 細かい知識が問われた。9. 大阪での万博開催は, 1970年と2025年。	やや難

#### 合格のための学習法

原始から近現代まで、例年通り幅広い時代から出題された。したがって、対策が手薄になりがちな近現代史も、文化史を含めて前近代史と同様に徹底して学習することが肝心である。問題文や選択肢の文には、教科書や用語集の説明を参考にしたと思われるものが散見されるため、学習の際には教科書の脚注を含め細部にまで目を通し、さらに、用語集などを活用して知識を深めて高得点を目指したい。また、直近の過去問で出題されたテーマについて、問い方を変えて出題されることも多いため、過去問演習はもちろんのこと、その内容について復習を丁寧に行うことも必要である。正誤の判断に時間を取られるため、時間配分も重要になる。その点でも過去問演習は欠かせない。